

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 1669年、松前藩による不当な交易に対して蜂起したアイヌ民族の首長は誰ですか？ |
| 問2 | 18世紀後半から19世紀初めにかけて、文化の中心地として化政文化が栄えた場所はどこ？ |
| 問3 | 江戸幕府が直接支配し、経済の中心地として発展した現在の大阪府にあたる都市を何という？ |
| 問4 | 大名が一年おきに領地と江戸を往復し、将軍に仕える制度を何という？ |
| 問5 | 幕府が財政難を解消するために、小判の金の含有量を減らして利益を得た「元禄の貨幣改鑄」が行われた年はいつ？ |
| 問6 | 江戸時代、清との貿易を管理するため、長崎に設置された中国人居住地を何という？ |
| 問7 | 1789年に採択され、国民の自由や平等などの基本的人権を普遍的なものとして明記した文書を何という？ |
| 問8 | 水野忠邦が江戸幕府の権威回復を目指して行った、1840年代の幕政改革を何という？ |
| 問9 | 江戸時代後期に江戸を中心に栄えた、町人文化の全盛期を何という？ |
| 問10 | 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？ |
| 問11 | 鎖国下において、日本が長崎での貿易を許可した相手国として、オランダ以外の国はどこ？ |
| 問12 | 江戸時代に、西洋の学問を日本語に直して研究するようになった活動を何という？ |
| 問13 | 宿場において、大名や幕府の役人が泊まるために用意された特別な宿泊施設を何という？ |
| 問14 | 江戸時代、西日本の経済の中心地であり、天下の台所と呼ばれた都市はどこ？ |
| 問15 | 江戸時代後期、財政難に苦しむ諸藩が、特定の産品を独占的に生産・販売することで利益を得ようとした制度を何という？ |
| 問16 | 江戸幕府が武士の道徳として奨励し、身分秩序を重んじる教えの源流となった学問は？ |
| 問17 | 江戸時代に西廻り航路を整備し、日本海沿岸の物資を大坂へ運ぶ仕組みを作った人物は誰？ |
| 問18 | 1780年代に発生し、農村の荒廃と幕府の財政難を深刻化させた大規模な飢饉を何という？ |
| 問19 | 江戸幕府を開き、幕藩体制の基礎を築いた人物は誰？ |
| 問20 | 伊能忠敬が完成させた、日本全国の沿岸を高い精度で示した地図の名称は何という？ |
| 問21 | 江戸幕府が、大名に対して江戸と領地を1年おきに往復させ、妻子を人質として住まわせるように義務づけた制度を何という？ |

答え合わせ・解説

問1	答え シャクシャイン	この不当な扱いに苦しんだアイヌの人々は、首長であったシャクシャインを中心に蜂起し、各地で戦いを繰り広げました。しかし、松前藩の軍勢に対して組織的な抵抗は続けましたが、最終的には和議の席で謀殺され、戦いは鎮圧されました。
問2	答え 江戸	かつての文化の中心地であった上方から、経済力と人口を兼ね備えた江戸に文化の中心が移りました。この時期に栄えた文化を化政文化と呼び、浮世絵や俳諧、読本などの新しい町人文化が江戸の町で大いに発展しました。
問3	答え 大坂	大坂は全国から年貢米や特産品が集まる物流拠点であり、銀などを使って商取引が行われる「天下の台所」として栄えました。大名たちはここで特産品を売って資金を得ていたため、大坂は経済活動において非常に重要な役割を果たしました。
問4	答え 参勤交代	1635年、徳川家光によって制度化された参勤交代は、大名を1年おきに江戸と領地に住まわせる義務を課すものです。この往復費用は莫大であり、大名の財政を圧迫して反乱の余力を削ぎました。また、妻子を人質として江戸に住まわせることも義務付けられていました。
問5	答え 1695年	1695年に実施された元禄の貨幣改铸は、小判の金の含有量を意図的に減らして発行し、その差額を幕府の収入とする政策でした。貨幣の量を一時的に増やすことで経済活動を促進しようという狙いもありました。
問6	答え 唐人屋敷	唐人屋敷は、中国人の居住地を制限し、密貿易を防ぐために長崎に建設されました。当初は町の中に分散していましたが、1689年に唐人屋敷が完成し、中国人はここに隔離される形で貿易が行われました。主な輸入品は絹や書籍、輸出品は銅や海産物でした。
問7	答え フランス人権宣言	この宣言は「人間は生まれながらにして自由であり、権利において平等である」と定め、主権は国民にあることを明示しました。これは当時の封建的な社会制度を否定し、近代的な市民社会を作るための重要な指針となりました。
問8	答え 天保の改革	老中首座となった水野忠邦は、財政再建を目指して改革に着手しました。厳しい倭約令を出して生活を制限したり、物価を抑えるために株仲間を解散させたりしました。また、江戸周辺の土地を直轄地にする「上知令」も出そうとしましたが、多くの反発を招きました。
問9	答え 化政文化	江戸を中心に、歌舞伎や浮世絵、小説などの娯楽が大きく発展しました。この時期の文化は、当時の元号である「文化・文政」から「化政文化」と呼ばれます。喜多川歌麿や葛飾北斎による浮世絵や、十返舎一九の滑稽本などが代表的で、贅沢で遊び心のある雰囲気の特徴です。
問10	答え 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチェリーナ2世に謁見し、苦勞の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問11	答え 中国	鎖国政策が完成した後、幕府は長崎に限定して貿易を許可しました。キリスト教を広めないオランダと、中国（当時は清）のみがその対象でした。貿易を通じて、漢籍や医薬品などが輸入され、日本の学問や文化にも少なからぬ影響を与えました。
問12	答え 蘭学	医学、天文学、地理学などの西洋の先進的な知識を研究する活動を蘭学といいます。杉田玄白のような医学者だけでなく、多くの知識人が西洋の最新技術や科学知識に関心をもちました。
問13	答え 本陣	宿場には旅籠（一般の旅人向け）のほかに、大名、公家、幕府役人などが宿泊するための「本陣」が設けられました。本陣は建物や設備が豪華で、敷地も広く、警備も厳重に行われていました。大名の権威を示すためにも重要な施設でした。
問14	答え 大阪	大阪は諸藩の蔵屋敷が立ち並び、全国から米や特産物が集まる流通拠点となりました。ここでの取引価格が全国のものとなるほど、経済的に重要な役割を果たしました。
問15	答え 専売制	専売制は、藩内の特産物（砂糖、紙、蠟など）を藩が買い上げ、市場へ独占的に販売する仕組みです。藩が利益を吸い上げることで、厳しい財政状況を立て直そうとしました。
問16	答え 儒教	儒教は、中国の春秋戦国時代に孔子によって説かれた思想です。江戸幕府は、この教えを基礎とする「朱子学」を官学として推奨しました。君臣や親子の上下関係、礼節を重んじる思想は、幕府が安定した統治を行うための理論的な支柱となりました。
問17	答え 河村瑞賢	河村瑞賢は、幕府の命を受けて海上交通の整備を行いました。彼は東北の米を日本海経由で大坂へ運ぶ「西廻り航路」を整備し、船による大量輸送を可能にしました。また、東廻り航路の整備にも尽力し、物流の効率を大幅に改善しました。
問18	答え 天明の飢饉	東北地方を中心に甚大な被害が出た飢饉です。米の収穫量が激減したことで米価が急騰し、困窮した農民が都市へ流出したり、各地で打ちこわしが発生したりしました。
問19	答え 徳川家康	1603年に征夷大将軍に任命されて江戸幕府を開きました。彼は大名を厳しい法で縛り、身分制度を定めて社会を安定させました。全国の土地と民衆を、将軍家と各大名が分担して治めるという「幕藩体制」の根幹を作り上げました。
問20	答え 大日本沿海輿地全図	伊能忠敬が全国を実測して作成したこの地図は、経線や緯線が考慮されており、当時の技術水準では考えられないほど正確なものでした。海岸線の形や島の位置が精密に記録され、後の日本の地形認識の基礎となりました。
問21	答え 参勤交代	江戸時代の幕府が大名に対して行った軍事・政治的な支配制度です。大名は一定の期間を江戸で過ごし、妻子を江戸に居住させることを義務づけられました。これには多額の費用がかかるため、各藩は経済的に疲弊し、幕府に反抗する余力がなくなりました。